

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 3 1 号
件 名	秋葉区矢代田地内に建設予定のライフル射撃場の建設場所を、他の場所に変更することを求める意見書の提出について
要 旨	<p>このライフル射撃場建設計画については、2020年2月14日の新潟日報紙上に、「県と県内全30市町村が支援する形で県猟友会が整備する。クマやイノシシによる人身被害や農作物被害が相次ぐ中、捕獲の担い手を育成するため、2022年度のオープンを目指す。」と掲載されていました。この計画について、秋葉区矢代田地内の小須戸地区ふれあい会館で、射撃場を建設するための地元説明会が2回ほど開催されています。</p> <p>私も新潟市民の一人として、誘致に十分なメリットがあって、本当に矢代田のためになる、もろ手を挙げて誘致に賛成できるような施設なのかどうか疑問に思います。</p> <p>新潟県の担当課及び新潟市の担当課に情報公開で調べてみて、尋ねてみて、県猟友会に尋ねてみて、また地元の知人や関係者などに尋ねてみると、地元の矢代田地区は大方が反対、残る天ヶ沢・鎌倉・松ヶ丘・舟戸地区は大方が賛成。どうして地元、矢代田地区の反対に対して他の地区が賛成する状況の中で、県、市は建設を進めようとするのか、新潟県内のほかに候補地があったのかなかったのか、疑問に思います。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	令和3年9月22日 環境建設常任委員会
受 理	令和3年9月13日 第275号

今年3月11日に、新潟県広域被害防止協議会（事務局：新潟県県民生活・環境部環境企画課、会長：新潟市環境部環境政策課長）の依頼もあり、秋葉区、山の手コミュニティ協議会で検討会議が開催され、住民代表によるライフル射撃場建設の受入れ賛否の無記名投票が行われました。その結果、反対6票に対し賛成5票の結果が出て、令和3年4月27日付、大口径ライフル射撃場整備案件についての文書で報告されています。この反対多数の賛否結果をもってコミュニティ協議会会長は、この案件はコミュニティ協議会から離れて、今後は事業主体の県猟友会と県がどうするのかと説明しています。

この反対多数の結果は、矢代田でのライフル射撃場建設はノーと結論が出されたもので、県も市も認めて、受け入れるべきものです。

については、ライフル射撃場は、冒頭の新聞掲載記事のとおり新潟県に必要な施設につき、他の場所に変更して、早急に建設計画を進めなければならないと思われます。このことについては、新潟市秋葉区選出の5名の市議会議員が知恵を出し合い、取りまとめ役として、新潟県に、ライフル射撃場を他の場所に変更して建設整備を促進する意見書を提出することを求め陳情いたします。